

令和 4 年 9 月 2 日開催  
健康横浜 2 1 推進会議 資料 5 より  
(横浜市民の健康を取り巻く現状について)

## 第 2 期健康横浜 2 1 計画評価及び 次期計画策定検討部会の検討状況について

### 横浜市健康福祉局保健事業課

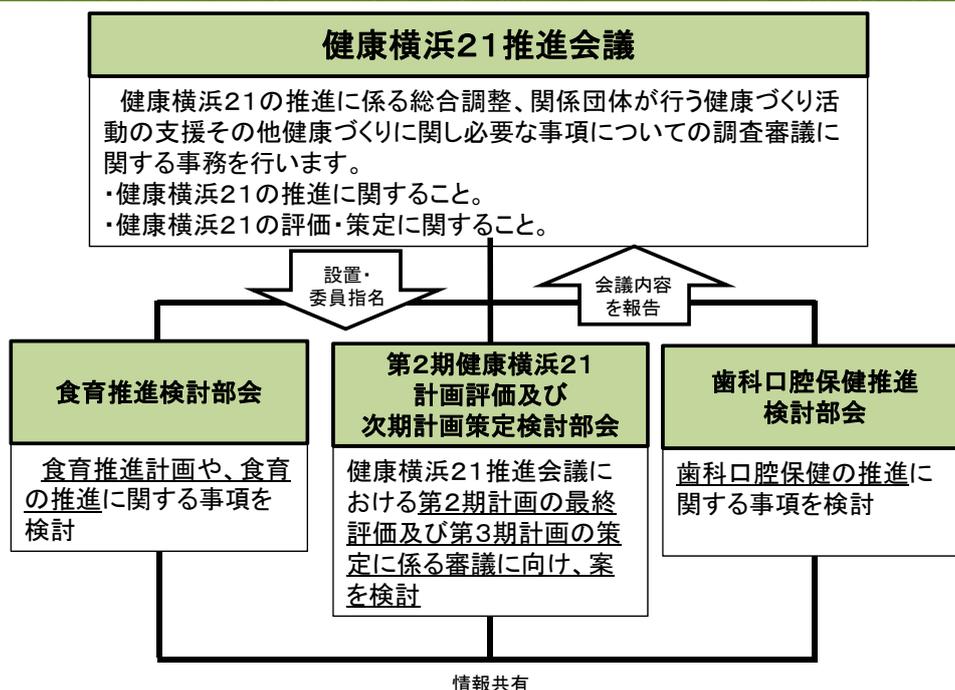
あうたびに、あたらしい  
Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



#### ・・・次期計画（第 3 期健康横浜 2 1）の検討体制・・・

2



【主な議事】

横浜市民の健康を  
取り巻く現状(たたき台)

a.事務局より

b.後藤委員より

※横浜市大との覚書締結に  
よるデータ分析の報告

★部会長 ●臨時委員の学識 (敬称略)

	氏名	職名
1	★豊福 深奈	横浜市医師会 常任理事
2	●赤松 利恵	お茶の水女子大学
3	●後藤 温	横浜市立大学ヘルステックサイエンス専攻
4	佐藤 信二	横浜市歯科医師会 常務理事
5	瀬戸 卓	横浜市薬剤師会 副会長
6	田口 敦子	慶應義塾大学
7	●土屋 厚子	静岡社会健康医学大学院大学 浜松医科大学
8	長谷川 利希子	神奈川県栄養士会 副会長
9	●村山 洋史	東京都健康長寿医療センター研究所

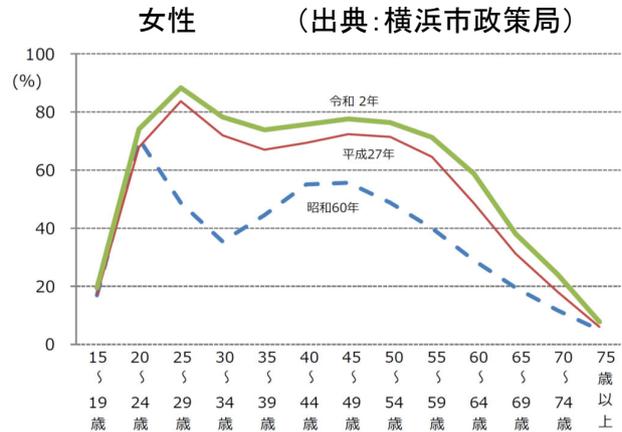
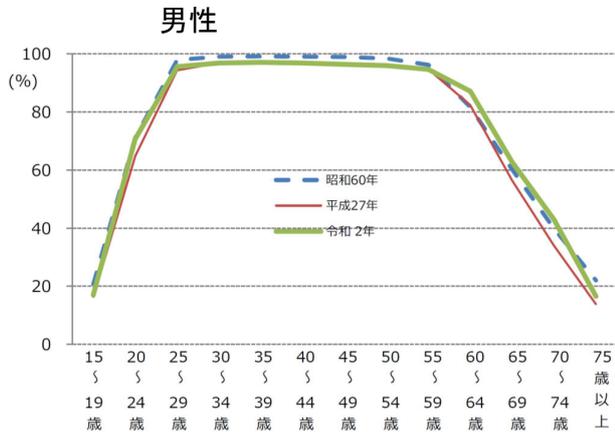
横浜市民の健康を取り巻く現状

<p><b>1 社会背景</b></p> <p>(1)人口・世帯の推移 (2)区別に見る人口構造の特性 <b>(3)労働力人口の推移と特性</b>(総務省、横浜市政策局:国勢調査 就業状態等基本集計)</p>	<p>赤字部分 を取り上げて 御紹介</p>
<p><b>2 主要な疾病状況</b></p> <p>(1)平均寿命と健康寿命の推移 (2)区別に見る平均自立期間 <b>(3)死因別死亡数と死亡率の状況</b>(厚生労働省:人口動態統計) <b>(4)主要死因の推移と状況</b>(厚生労働省:人口動態統計) (5)介護が必要となった原因疾患 (6)その他の主要疾患の状況</p>	
<p><b>3 健康状態、健康に関する意識・行動</b></p> <p><b>(1)健康状態</b>(厚生労働省:NDBオープンデータ) <b>(2)健康に関する意識</b>(横浜市健康福祉局:健康に関する市民意識調査) (3)健康診断の受診状況 (4)がん検診の受診状況 (5)歯科健診の受診状況</p>	

# 労働力率 (15歳以上人口に占める労働力人口の割合)

## <労働力率の推移>

- ・男性は「**台形型**」で、25歳から59歳までの各年齢階級が90%台と高く、それ以外の年齢階級で低い
- ・女性は「**M字カーブ**」で25～29歳、45～49歳を頂点とし、35～39歳を底とする。昭和60年以降の全ての年齢階級において、令和2年の労働力率が最高となり、25歳から49歳までの各年齢階級間における差が縮小し、「**M字カーブ**」の底が上昇し、**台形に近づいている**。



(出典:横浜市政策局)

# 死因別死亡数と死亡率

## <死因別死亡数と死亡率の状況>

- ・**悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の3つの疾患で死亡数の半数を占め、悪性新生物と心疾患の死亡数は増え続けている。ただし、働き世代の生活習慣病による早世は減少している。**
- ・【次頁:標準化死亡比】全国と比較して有意に高い死因は、男性では悪性新生物の結腸、急性心筋梗塞、肝疾患等、女性では悪性新生物(部位別では結腸、乳房)、慢性閉塞性肺疾患等。
- ・区別に見ると、男女共に鶴見、神奈川、西、中、南区などで有意に高い死因が多くなっている。

死亡の構成比:令和2年(2020年)

順位	死因	人	%
1	悪性新生物<腫瘍>	9,670	28.8%
2	心疾患(高血圧性を除く)	5,094	15.2%
3	老衰	4,115	12.2%
4	脳血管疾患	2,226	6.6%
5	肺炎	1,493	4.4%
6	誤嚥性肺炎※	1,103	3.3%
7	不慮の事故	1,071	3.2%
8	肝疾患	578	1.7%
9	腎不全	557	1.7%
10	自殺	550	1.6%
	その他	7,162	21.3%
	合計	33,619	100.0%
1+2+4	三疾患合計(再掲)	16,990	50.5%

# 標準化死亡比(SMR)／男性

区名	全死因	悪性新生物							心疾患		慢性閉塞性肺疾患	肝疾患	老衰	不慮の事故		自殺
		胃	結腸	直腸	肺	乳房※	子宮	急性心筋梗塞	脳血管疾患	交通事故						
鶴見	1.125	1.123	1.070	1.231	1.117	1.134	-	-	1.322	1.020	1.364	1.562	1.520	1.145	0.753	0.852
神奈川	1.036	1.011	0.984	1.102	1.054	0.999	-	-	1.234	0.982	1.014	1.381	1.246	1.139	0.493	0.880
西	1.097	1.045	1.016	1.206	0.957	0.938	-	-	1.134	1.044	0.995	1.521	1.599	1.136	0.528	0.880
中	1.305	1.161	1.116	1.215	1.165	1.123	-	-	1.966	1.349	1.233	4.450	1.408	1.507	0.769	1.193
南	1.160	1.130	1.070	1.181	1.020	1.086	-	-	1.906	1.221	1.101	2.617	1.420	1.186	0.659	0.897
港南	0.963	0.984	0.973	1.048	1.039	0.894	-	-	1.354	0.950	0.943	1.062	1.405	1.105	0.695	0.752
保土ヶ谷	1.009	1.029	1.051	1.077	1.007	1.028	-	-	1.231	1.001	0.892	1.260	1.415	1.104	0.674	0.831
旭	0.964	0.949	0.980	1.018	1.054	0.905	-	-	1.087	0.899	0.935	1.231	1.561	1.037	0.626	0.827
磯子	1.015	1.027	0.994	1.033	0.980	0.982	-	-	1.198	0.913	1.021	1.243	1.423	1.125	0.941	0.818
金沢	0.929	0.993	0.935	0.925	0.985	0.911	-	-	0.823	0.779	0.941	0.895	1.237	0.972	0.609	0.777
港北	0.908	0.918	0.888	0.999	0.995	0.896	-	-	1.010	0.846	0.846	1.045	1.195	0.990	0.416	0.707
緑	0.883	0.951	0.991	1.016	0.935	0.927	-	-	0.893	0.757	0.871	0.865	1.327	0.988	0.761	0.683
青葉	0.778	0.858	0.923	0.945	0.858	0.795	-	-	0.695	0.679	0.601	0.769	1.241	0.767	0.579	0.632
都筑	0.850	0.938	0.965	0.993	0.947	0.915	-	-	0.768	0.775	0.729	0.872	1.179	1.080	0.823	0.732
戸塚	0.931	0.963	0.896	0.980	0.996	0.915	-	-	0.924	0.881	0.835	1.020	1.245	1.065	0.724	0.740
栄	0.891	0.926	0.952	0.967	0.920	0.860	-	-	0.976	0.763	0.893	0.902	1.615	0.941	0.651	0.876
泉	0.936	0.951	0.972	1.003	0.981	0.871	-	-	0.757	0.894	0.980	1.074	1.259	0.970	0.395	0.781
瀬谷	1.007	1.014	1.052	1.041	1.208	0.946	-	-	1.299	0.906	1.000	1.032	1.382	1.041	0.806	0.786
横浜市	0.978	0.992	0.983	1.047	1.011	0.948	-	-	1.128	0.915	0.944	1.336	1.356	1.060	0.651	0.799
【参考】 死亡者数 (令和2年)	17,951	5,737	700	509	245	1,336	-	-	416	1,141	283	423	1,210	604	46	346

男性  
SMR

全国よりも  
 有意に高い  
 有意に低い

# 標準化死亡比(SMR)／女性

区名	全死因	悪性新生物							心疾患		慢性閉塞性肺疾患	肝疾患	老衰	不慮の事故		自殺
		胃	結腸	直腸	肺	乳房	子宮	急性心筋梗塞	脳血管疾患	交通事故						
鶴見	1.150	1.133	0.953	1.094	1.118	1.244	1.205	0.975	0.767	1.033	1.586	1.067	1.576	1.484	0.739	0.976
神奈川	1.062	1.064	1.030	1.082	0.987	1.102	1.120	1.089	0.840	0.911	1.926	1.121	1.327	1.293	0.363	0.898
西	1.179	1.106	1.158	1.104	1.172	0.979	1.227	0.997	0.886	1.102	1.219	1.099	1.751	1.375	0.839	0.993
中	1.131	1.193	1.146	1.131	1.144	1.129	1.291	1.014	1.450	1.007	1.691	1.216	1.438	1.489	0.619	1.050
南	1.193	1.169	1.216	1.027	1.070	1.285	1.189	0.956	1.661	1.201	1.481	1.431	1.601	1.447	0.559	1.126
港南	1.008	1.033	0.983	1.054	0.955	1.080	1.098	1.074	1.040	0.948	1.076	0.939	1.567	1.291	0.624	0.949
保土ヶ谷	1.016	1.073	1.011	1.027	0.964	1.060	1.260	0.894	0.869	0.998	1.432	1.008	1.378	1.230	0.583	0.947
旭	0.943	0.962	0.861	1.085	0.957	0.890	1.160	0.939	0.755	0.832	1.213	0.965	1.350	1.144	0.457	0.978
磯子	1.021	1.043	1.005	1.022	0.992	1.013	1.159	0.896	0.964	0.871	1.724	1.249	1.370	1.428	0.512	0.982
金沢	1.024	1.031	0.924	1.055	1.096	0.997	1.160	0.953	0.693	0.892	0.985	0.816	1.530	1.262	0.594	0.972
港北	0.991	1.017	0.925	0.997	1.089	0.953	1.189	1.008	0.750	0.857	1.124	0.971	1.291	1.266	0.645	0.918
緑	0.877	0.947	0.889	0.979	1.091	0.993	1.118	0.961	0.586	0.678	0.947	0.920	1.096	1.227	0.639	1.031
青葉	0.870	0.949	0.893	0.980	0.980	0.952	1.160	0.898	0.560	0.710	1.034	0.807	1.277	1.077	0.672	0.901
都筑	0.817	0.952	0.911	0.990	0.991	1.013	1.102	0.849	0.581	0.647	0.985	0.878	1.076	0.911	0.013	0.878
戸塚	0.976	0.997	0.951	1.042	1.013	0.952	1.073	0.936	0.804	0.944	1.909	1.006	1.234	1.190	0.613	0.947
栄	0.942	0.950	0.888	1.075	0.960	1.049	1.186	0.983	0.677	0.793	1.107	0.886	1.584	1.245	0.505	0.968
泉	0.907	0.935	0.954	1.016	1.015	0.890	1.103	0.920	0.593	0.812	0.995	0.943	1.248	1.062	0.643	0.944
瀬谷	1.027	1.072	0.980	1.143	1.010	1.064	1.354	0.880	0.876	0.951	1.150	0.841	1.375	1.243	0.698	1.046
横浜市	0.999	1.029	0.970	1.045	1.027	1.031	1.167	0.958	0.839	0.892	1.320	1.003	1.367	1.250	0.571	0.964
【参考】 死亡者数 (令和2年)	15,668	3,933	322	429	133	562	445	191	187	1,085	72	155	2,905	467	17	204

女性  
SMR

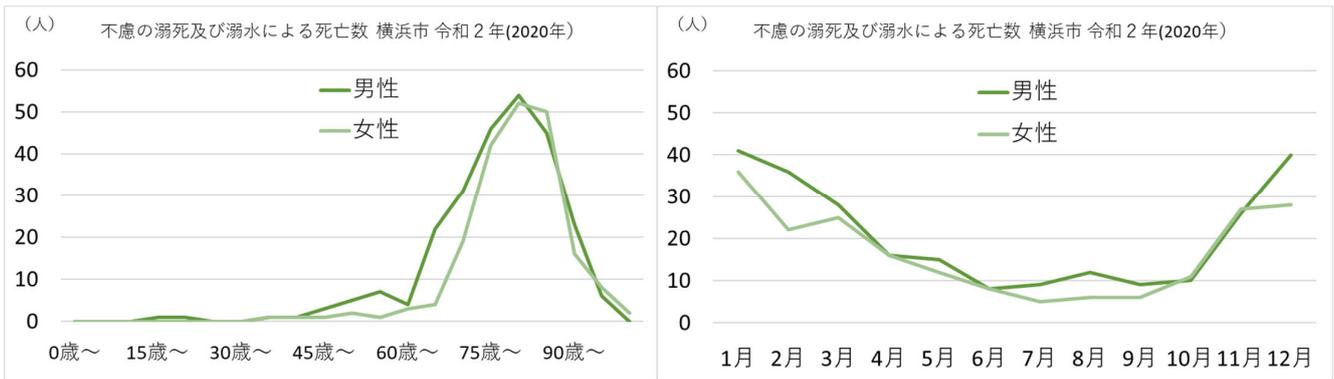
全国よりも  
 有意に高い  
 有意に低い

## 「不慮の事故」のうち「不慮の溺死及び溺水」／女性

9

### 【女性の「不慮の事故」】

全国と比較して有意(偶然ではなく統計学的に意味がある)に高い区が15区あり、有意に低い区はない。令和2年(2020年)の不慮の事故による横浜市女性の死亡は467人で、このうち交通事故は17人である一方、**不慮の溺死及び溺水が202人おり、その95.5%にあたる193人が65歳以上。11月～3月に不慮の溺死及び溺水が多い。**



## 新型コロナウイルス感染症

10

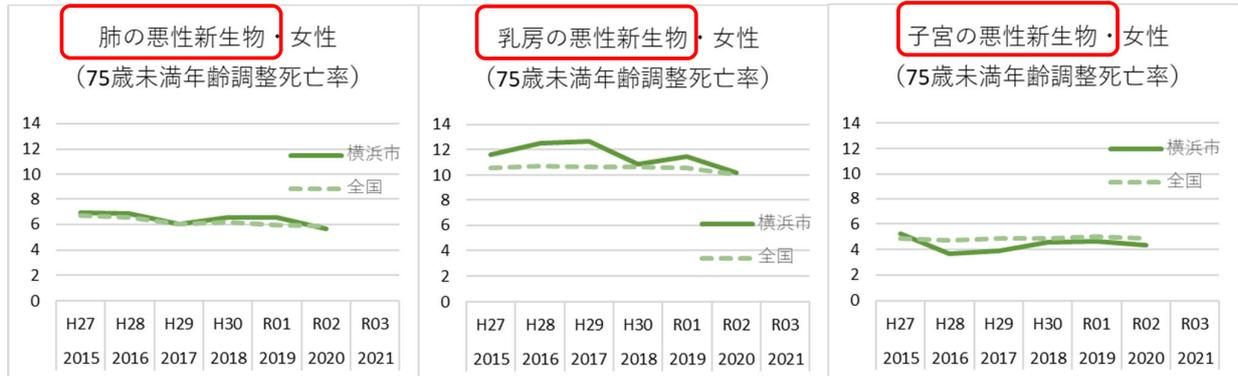
厚生労働省が公表した人口動態統計によると、令和3年(2021年)の概数は、  
本市で550人となっており、腎不全(590人)、自殺(574人)に迫る死亡数となっています。

	令和2年(2020年)		令和3年(2021年)概数	
	全死因	新型コロナ	全死因	新型コロナ
全国	1,372,755	3,466	1,439,809	16,756
横浜市	33,619	147	35,922	550

# 悪性新生物の部位別・75歳未満年齢調整死亡率 11

## <主要死因の推移と状況>

・悪性新生物の部位別死亡数が多い順に、男性では肺、大腸、胃、女性では肺と大腸(同数)、膵。  
 ただし、75歳未満年齢調整死亡率で見ると、女性は乳が最も多くなるとともに子宮の順位が上がり、他の部位に比べて早世している。



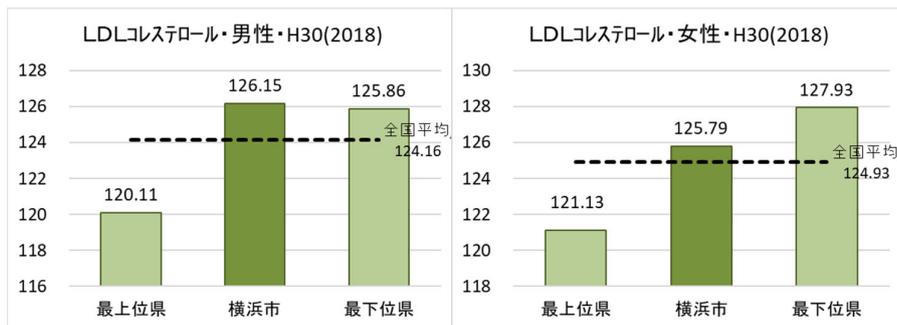
注: 基準人口には昭和60年モデル人口を使用しているが、平成27年モデル人口による再計算について検討中

# 特定健診における脂質異常症(LDLコレステロール) 12

## <脂質異常症の状況>

・血圧や血糖に関する特定健診の検査結果については、全国値と比較すると比較的良好なデータが多い。  
 ・脂質異常症については、薬を服用している人は全国値よりも少ない傾向だが、LDLコレステロールの値は男女共に高い(悪い)状態。

いわゆる「悪玉コレステロール」

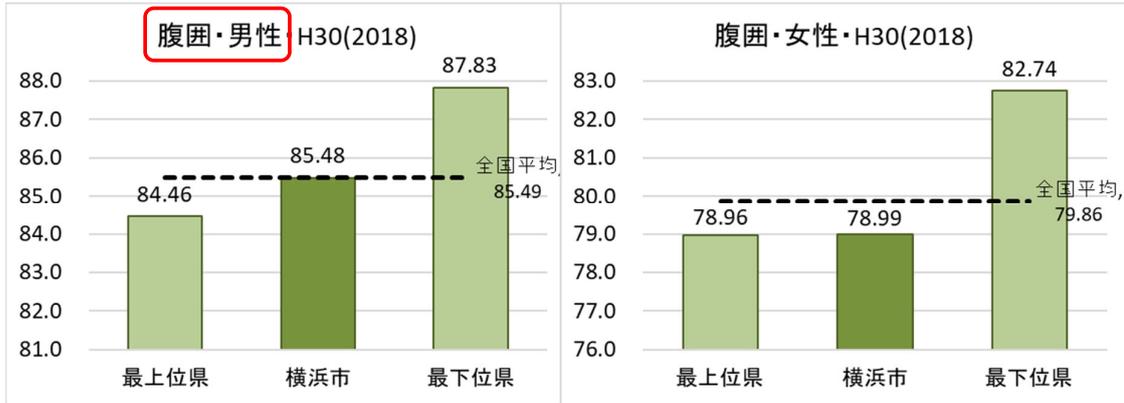


厚生労働省: NDBオープンデータ 平成30年度特定健診

# 特定健診における男性の肥満

## <健康状態>

・特定健診の検査結果については、全国値と比較すると比較的良好なデータが多い中で、男性の肥満（BMI、腹囲、体重増加）については、全国平均並み。

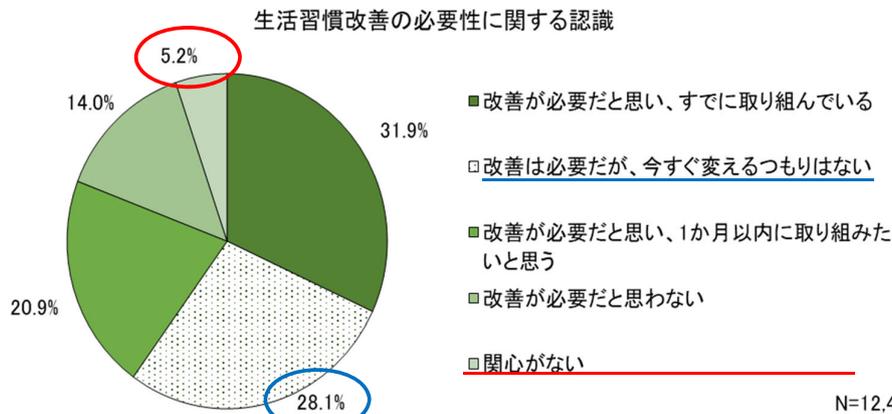


厚生労働省：NDBオープンデータ 平成30年度特定健診

# 生活習慣改善の必要性への認識（健康無関心層）

## <健康に関する意識>

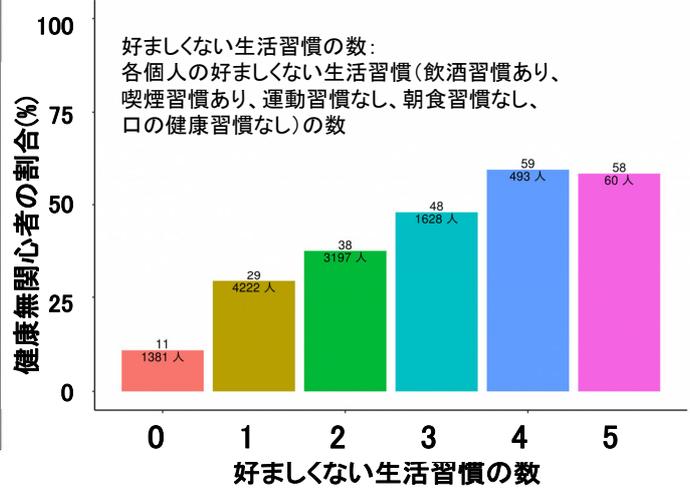
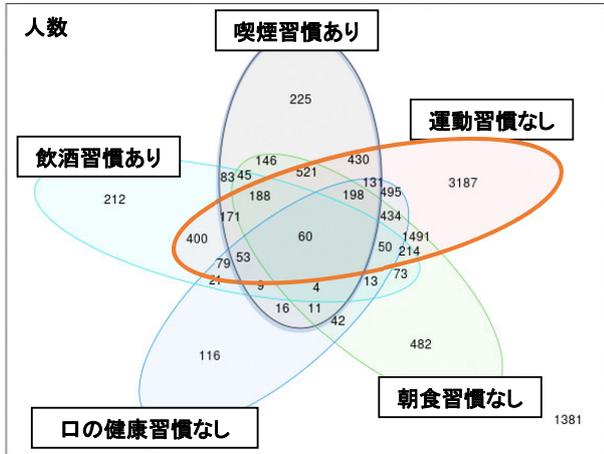
・市民の3分の1は、生活習慣改善の必要性を感じていても行動するつもりはない、又は、関心がないと回答。



横浜市健康福祉局：令和2年度健康に関する市民意識調査

## 横浜市大 後藤委員：好ましくない生活習慣の重なりと健康無関心

令和2年度健康に関する市民健康意識調査(60歳未満, 10,981人)

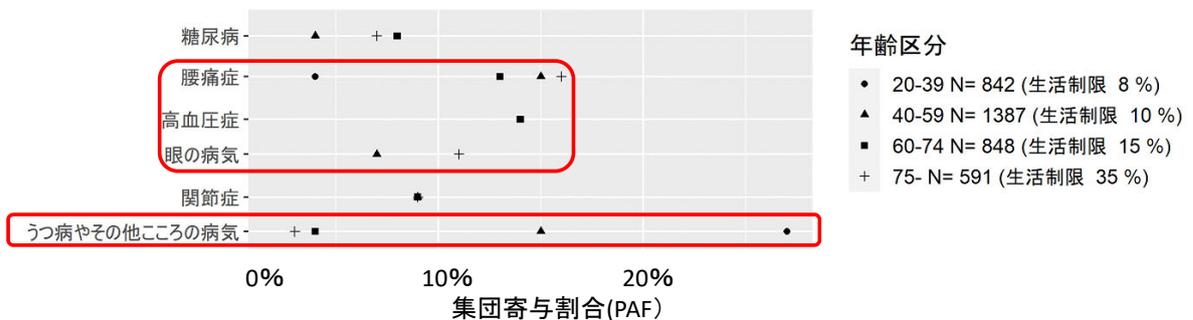


- ・運動習慣がない人や喫煙習慣のある人では、他の好ましくない生活習慣も併せ持つ傾向があった。
- ・好ましくない生活習慣の数が多いと、統計学的に有意に(偶然ではなく)健康無関心の割合が高くなる傾向があった。

## 横浜市大 後藤委員：傷病の日常生活制限に対する寄与割合

厚生労働省：令和元年国民生活基礎調査(横浜市分)

健康寿命への寄与が大きいと推定された傷病



腰痛症(40歳以上)、高血圧症(60-74歳)、眼の病気(75歳以上)、うつ病やその他のこころの病気(20-59歳)の寄与が大きい(PAF $\geq$ 10%)と推定された。これらの傷病対策が健康寿命の延伸に効果的である可能性が示唆された。

- 健康無関心層へのアプローチの鍵(運動、禁煙がきっかけで他へ好影響を及ぼす可能性)が示唆されたことは非常に興味深い。
- 腰痛症等と健康寿命の関係は、国の研究班の結果とも同様となっている。
- 健康課題は世代や属性で異なるため、それに応じたアプローチを検討する必要がある。
- 働く女性が増え、産業界、産業保健との連携はますます重要。
- 若い世代は、友人や同僚等の周囲からの影響を受けやすい。学校や職場を単位とした取組は効果的だろう。コロナ禍においてはメンタルヘルスもより重要。
- 取組(インプット)と結果(アウトプット)が連動していることがわかるような評価が実施できるとよい。

【次回予定:11月30日 主な議題 健康課題のまとめ、目標値と取組の検討】